

感染症情報 9月26日～10月2日

府下小児科201医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	726例(堺市 19例)
②おたふくかぜ	418例(堺市 26例)
③RSウイルス感染症	349例(堺市 29例)
④溶連菌感染症	317例(堺市 15例)
⑤手足口病	122例(堺市 4例)

が報告された。

感染症報告数は前週より21.8%増の2,369件であった。報告の第1位は感染性胃腸炎で以下、おたふくかぜ、RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病の順であった。2位のおたふくかぜは府下では前週比24%増で、堺市では53%増であった(17例→26例)。RSウイルス感染症が3位にランクアップした。府下では前週比38%増、堺市では前週19例から29例で53%増であった。当科周囲では流行している。4位の溶連菌感染症は府下で1%減、堺市では前週15例から今回15例で横ばいであった。手足口病が府下では前週87例から今回122例に増え(40%増)、増加傾向である(堺市では7→4例)。

関西空港内事業所は麻疹の集団感染は終息したと発表した。府下では上記報告期間中に1例が麻疹と報告されており、まだ終息していない。

風疹の報告はなかった。